



平成28年 熊本地震に関する九州地方整備局の活動状況



～ 全国のTEC-FORCEが集結し、被災地の早期復旧に向け全力で支援します ～

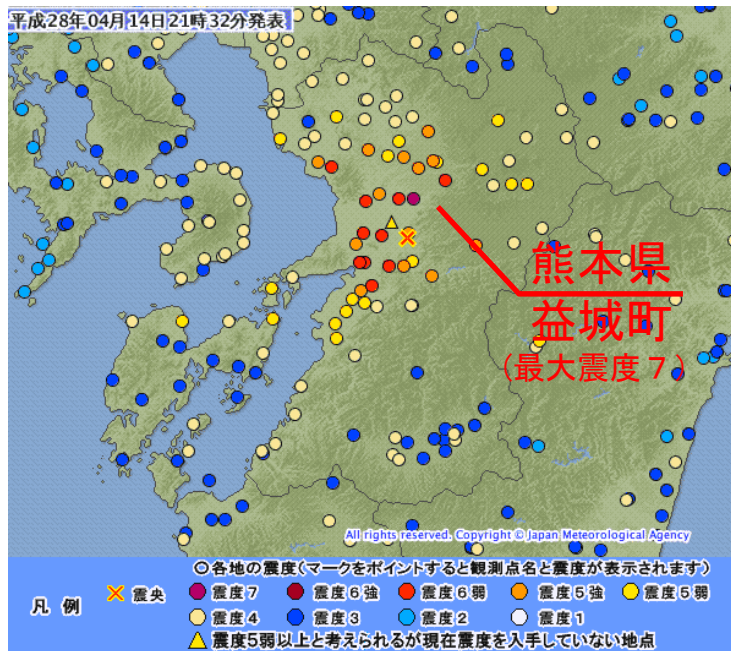
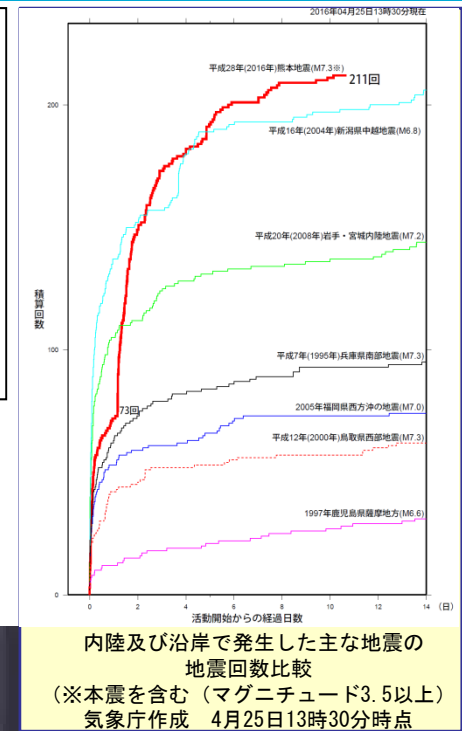


九州地方整備局
平成28年5月2日(月)

平成28年4月14日 熊本地震（最大震度7）

○平成28年4月14日、21時26分ごろ熊本県熊本地方で地震
（最大震度7）が発生 九州地整災害対策本部は非常体制を発令
○最大震度7を観測した熊本県益城町（ましきまち）への**災害情報等の
収集、災害応急対策の支援等を行うため、熊本県庁、熊本市役所、
益城町、グランメッセ対策本部などリエゾン37名を派遣。**
（4/25 14時00分時点）

■ 4月16日の1時25分にも、熊本県益城町、西原村で最大震度7を観測する地震が発生。
これらを含め、25日15時00分時点、震度1以上を観測する余震が888回発生。
（震度7：2回、震度6強：2回、震度6弱：3回、震度5強：3回、震度5弱：7回、
震度4：77回、震度3：200回等）。



▲ 4/14 最大震度7を観測（熊本近郊）気象庁ホームページより

▲ 益城町役場 避難状況（平成28年4月15日 3時）

1. 地震発生後の初動体制（リエゾン、TEC-FORCEを派遣）

- 平成28年4月14日（木）21時26分ごろ熊本県熊本地方で地震（最大震度7）が発生したため、災害対策本部が非常体制を発令（熊本県、熊本市、益城町、グランメッセ対策本部等へリエゾンを派遣）
- 平成28年4月15日（金）1時25分に緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）14名を益城町へ派遣



▲ 直ちに災害対策本部を立ち上げ



▲ 本省とテレビ会議による情報共有



▲ TEC-FORCE 出発前ミーティング



▲ TEC-FORCEが益城町へ出発

2. 初期の自治体支援（避難所に明かりを灯す照明車）

- 平成28年4月15日（金）停電のなか、益城町役場の避難所に明かりを灯す照明車18台を派遣
迅速な災害復旧に向け、現地に対策本部車や情報収集車を配備し、各種支援活動を開始



2. 初期の自治体支援（被災地に物資を支援）

- 平成28年4月15日（金）
九州地方整備局が備蓄する飲料水や非常食、防寒対策の毛布、ブルーシート等を被災自治体へ緊急提供



▲ 整備局が備蓄する飲料水と非常食を提供



▲ 整備局が備蓄する毛布を提供



▲ 支援物資をトラックへ積み込み



▲ 益城町役場で支援物資を積み卸し

3. 防災ヘリ「はるかぜ号」調査（九州道・阿蘇大橋地区）

- 平成28年4月15日（金）～16日（土）防災ヘリコプター「はるかぜ号」による上空調査を実施
道路陥没や土砂崩落箇所の調査、被災地へ入るための安全ルートの確認等を実施



4. 全国からTEC-FORCEが集結し被災地へ派遣

- 平成28年4月21日（木）沖縄総合事務局のTEC-FORCEが参加し、創設以来初めて全国のTEC-FORCEが一堂に集結。国土交通省は総力をあげて被災地を支援（4/26時点 総勢392名）



4. TEC-FORCEの活動内容（全体）

○ 北は北海道から南は沖縄まで、**全国からTEC-FORCE 約400名が集結し、被災地の支援活動を展開**
河川・砂防・道路など、様々な分野において、被災状況調査等の技術的支援を実施

▼全国のTEC-FORCEが集結(全国初)



▼河川堤防の被災調査(河川班)



▼砂防・地滑り・急傾斜の危険箇所点検 (砂防班)



▼道路の被災調査(道路班)



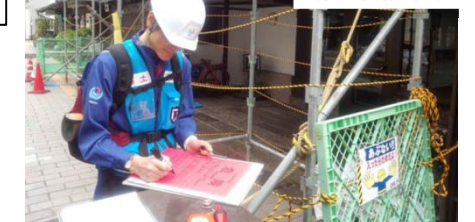
▼整備局所有船から飲料水等を提供 (港湾班)



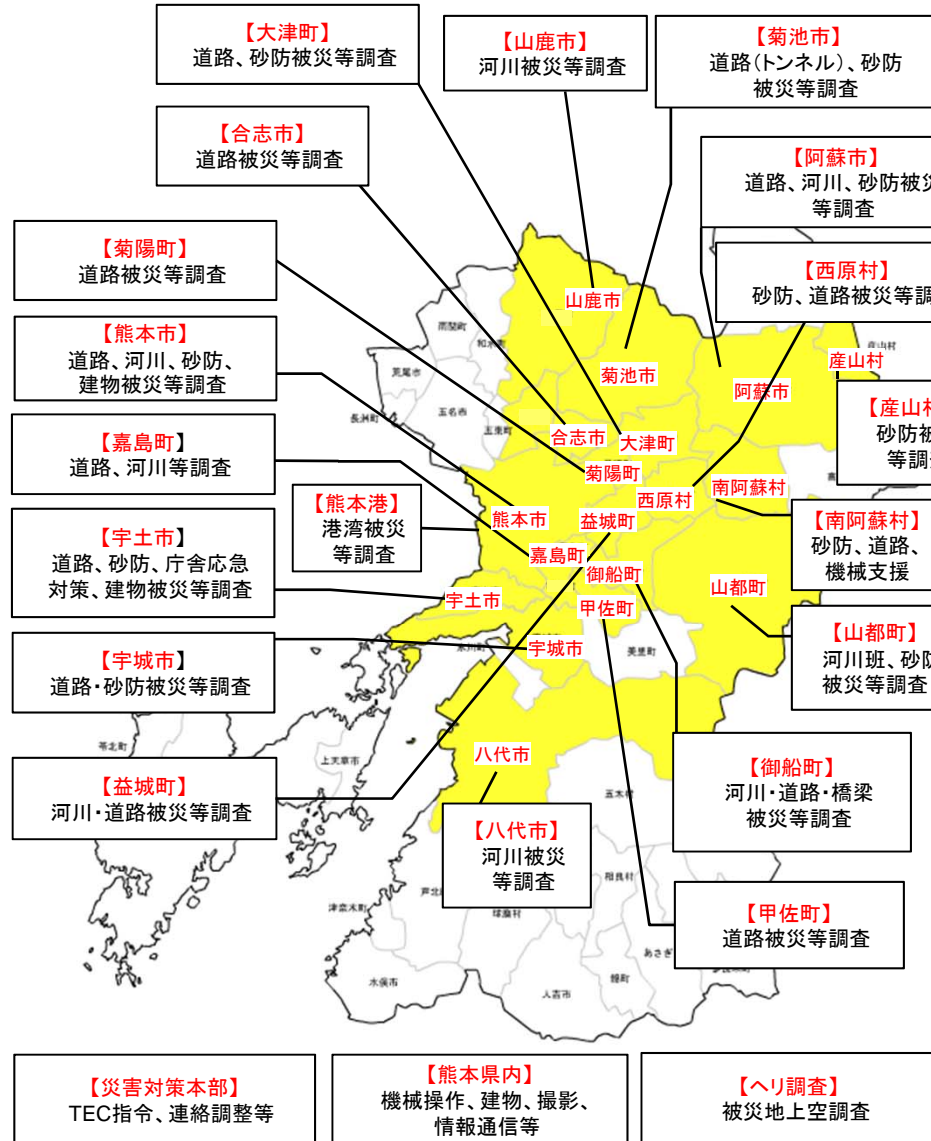
▼宇土市庁舎の緊急被災点検 (庁舎応急対策班)



▼被災建築物の応急危険度判定 (建築物班)



▼ドローンによる被災調査 (ドローン班)



平成28年5月2日現在：総数 299名 (延べ6,318人・日)

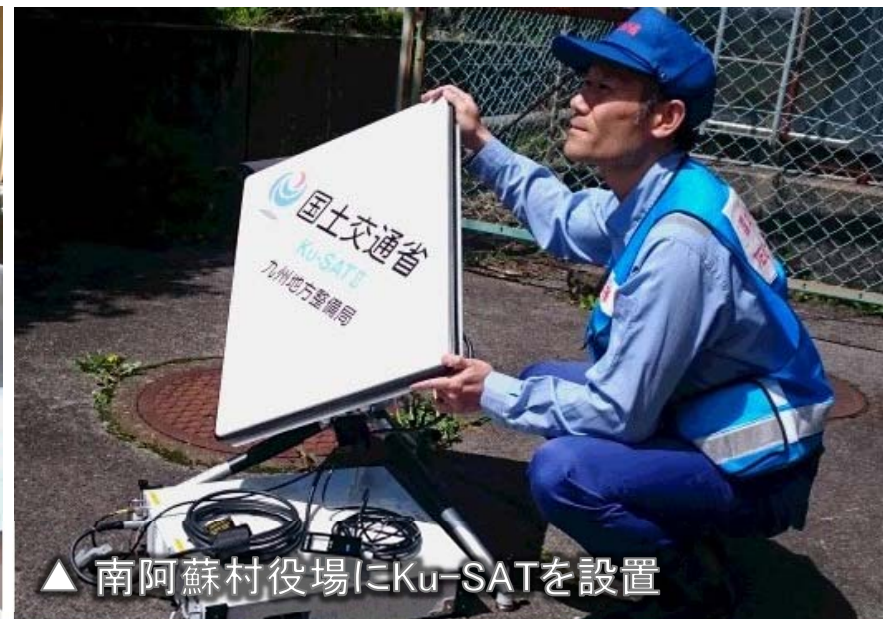
4. TEC-FORCEの活動内容（自治体支援）

- 平成28年4月17日（日）防災ヘリ「はるかぜ号」による被災状況調査の映像をリアルタイムに提供できるよう、Ku-SAT（衛星小型画像伝送装置）、モニターを南阿蘇村役場に設置するなど、情報通信体制を構築

▼ 南阿蘇村長へ調査方針を説明



▲ 南阿蘇村役場にKu-SATを設置



▼ 防災ヘリ「はるかぜ号」の調査映像



【ヘリ位置】 熊本県菊池郡大津町

【撮影位置】 熊本県阿蘇郡南阿蘇村

▲ 南阿蘇村長室にモニターを設置



4. TEC-FORCEの活動内容（自治体支援）

- 平成28年4月17日（日）南阿蘇村で発生した土砂崩落地に九州地整TEC-FORCEのドローン飛行部隊により被災状況を調査し、調査映像を情報提供。ヘリコプターよりも崩落地に近づき、詳細調査が可能



▲ドローンの飛行ルートを確認



▲離陸前にドローンを点検



▲ドローンが離陸し崩落箇所へ急行



阿蘇大橋地区

▲土砂崩落箇所を調査

4. TEC-FORCEの活動内容（河川）

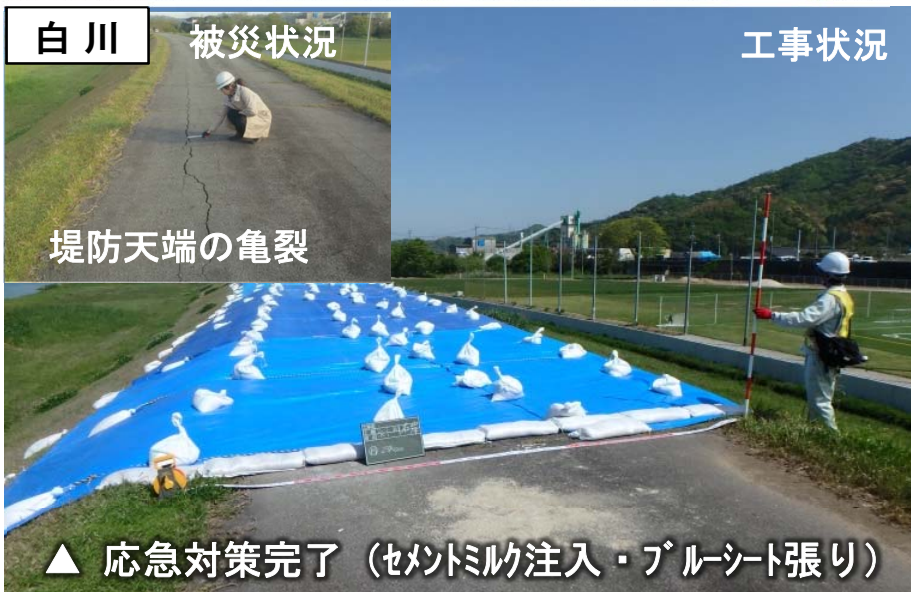
○ 平成28年4月15日（金）～ 熊本地震により被災した白川や緑川の被災状況を調査するため、ただちにTEC-DOCTORを派遣。地震翌日から順次、緊急復旧工事を実施



▲ 専門家（TEC-DOCTOR・国総研・土研）による調査



▲ 専門家による調査結果の報告



4. TEC-FORCEの活動内容（砂防）

- 平成28年4月18日（月）土砂災害の専門家等で設置した土砂災害現地調査チームとTEC-FORCEが合同で、土砂災害状況調査を実施



4. TEC-FORCEの活動内容（道路）

- 平成28年4月18日（月）土砂崩落により通行止めの「県道北外輪山大津線（ミルクロード）：二重峠交差点～菊池赤水線」において、TEC-FORCEによる復旧に向けた技術的指導や工事監督支援等により迅速に復旧作業が完了し、熊本方面から阿蘇・大分方面の東西軸の通行を確保



4. TEC-FORCEの活動内容（港湾）

- 一刻も早く支援物資を届けるため、九州各地の港を活用し、他地整（北陸・中部・近畿・中国・四国）所有の船舶で別府港、大分港、博多港に支援物資を輸送。リゾンからの情報を基に港から直接被災地に提供
- 4月16日（土）から熊本港で九州地方整備局所有の海洋環境整備船2隻により、地域の方々に飲料水を提供

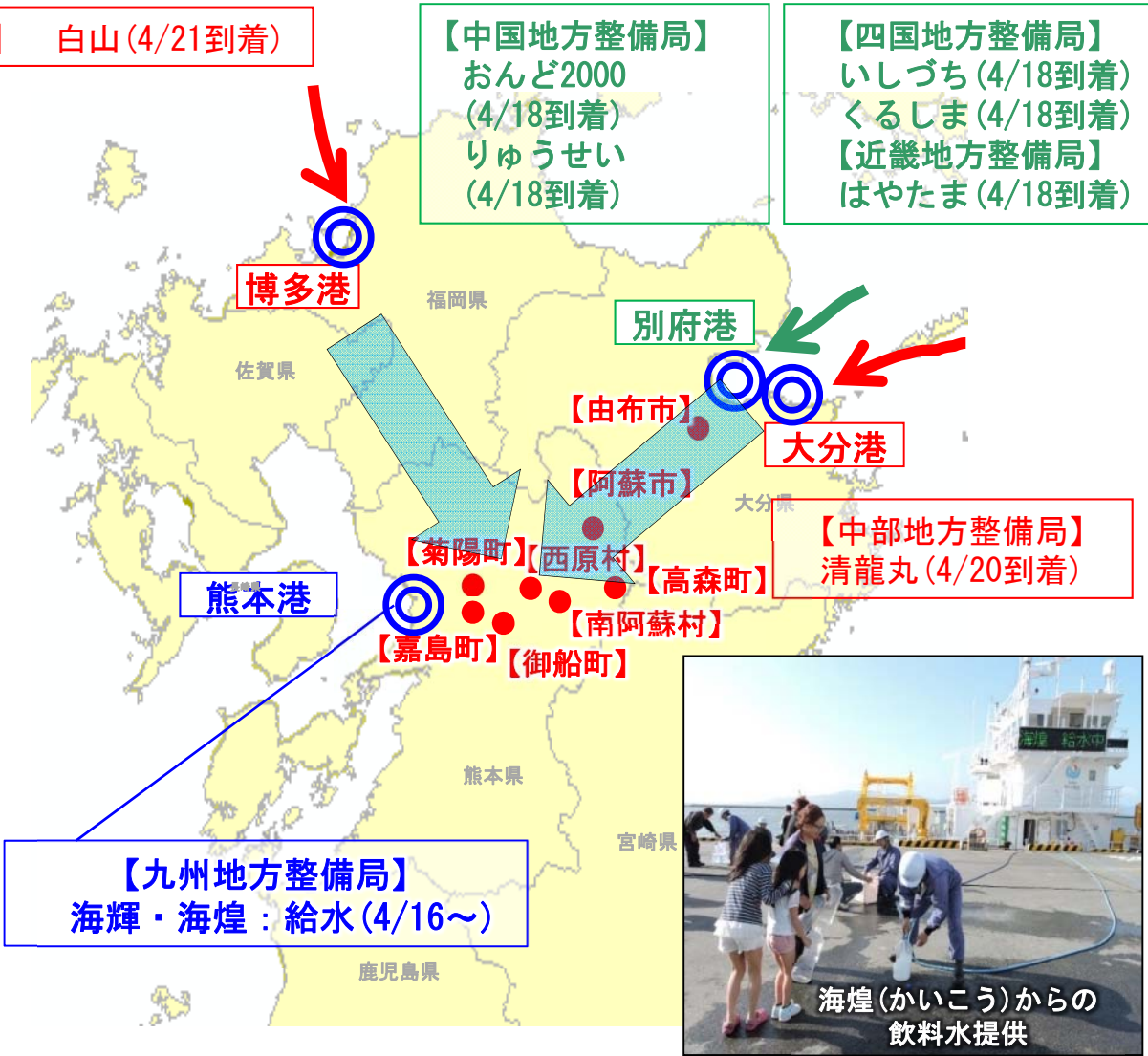
【北陸地方整備局】 白山 (4/21到着)

【中国地方整備局】
おんど2000 (4/18到着)
りゅうせい (4/18到着)

【四国地方整備局】
いしづち (4/18到着)
くるしま (4/18到着)
【近畿地方整備局】
はやたま (4/18到着)



被災地へ搬入



4. TEC-FORCEの活動内容（建築物）

- 平成28年4月19日（火）宇土市からの支援要請を受け、被災した庁舎について直ちにTEC-FORCEを派遣し、技術的支援を開始。また市役所執務室の一部として、中部地整の対策本部車を貸し出し



▲立ち入りが制限された宇土市役所庁舎



▲TEC-FORCEと日建連、県建設業協会が共同で調査



▲執務室として活用可能な車両を宇土市に貸し出し



▲車両に机を設置し執務を開始

4. TEC-FORCEの活動内容（建築物）

- 平成28年4月23日（土）TEC-FORCEが熊本市内の被災建築物の応急危険度判定を地方公共団体や民間の判定士とともに調査を実施



5. 石井国土交通大臣の被災現場視察（4月29日）

- 平成28年4月29日（土）石井国土交通大臣は、熊本地震で被災した阿蘇大橋地区（南阿蘇村）の土砂崩壊現場や熊本城の被災状況などを視察され、各市町村で活動するリエゾンを激励



▲ 阿蘇大橋地区の土砂崩壊現場を視察



▲ 熊本城の被災状況を視察



▲ 熊本港での給水支援活動を視察



▲ 益城町長をサポートするリエゾンを激励

5. 石井国土交通大臣の被災現場視察（4月30日）

○ 平成28年4月30日（日）石井国土交通大臣は、海上保安庁の航空機による被災地の上空視察や西原村の応急仮設住宅建設候補地を視察され、熊本県などの被災自治体との意見交換や各市町村で活動するTEC-FORCEを激励



▲ 海上保安庁の航空機に乗り込む石井大臣



▲ 西原村の応急仮設住宅建設候補地を視察



▲ 蒲島熊本県知事と意見交換をする石井大臣



▲ 南阿蘇村で活動するTEC-FORCEを激励する石井大臣